

西三河支部

令和4年度 新研修事業 「自社PR」、「調べて発表！西三河支部」、「懇親会」開催

- ・日 時：令和5年2月7日（火） 午後3時
- ・場 所：竜美丘会館301会議室
及び 2階 ローレライ（懇親会）
（岡崎市東明大寺町）
- ・参加者：38名（懇親会32名）

西三河支部（石山勝範支部長）は、コロナ禍の行動制限の緩和が社会的に浸透しつつあることから、新しい研修事業として「自社PR」、「調べて発表！西三河支部」、「懇親会」を開催しました。

本事業の企画意図は、『産業廃棄物と一括りにしても、各工程はかなり複雑な構造をしております。会員の中には廃液が得意な業者、運搬が得意な業者、廃液の中でも有機系や無機系、湿式や乾式、運搬の中でもバキューム車や大型平車、コンテナ車、ユニック車など各社の得意分野は様々であり、このような有用な技術・特性を周知する方法について考えました。会員同士は研修等で会うことがあるので互いに顔は知っていますが、何の処理を得意としているのかよく分からない、今までどこに頼んでよいか分からなかった廃棄物をどうにかしたい、と業務上の悩みを抱えた方が多くおられました。広域エリアを誇る西三河支部には難しい案件等の要望に応えられる業者が多数存在しますが、会員企業の情報を知る機会が少ない為、現実的には遠くの業者に処理を依頼することもあるようです。このような困り事の解決策の一つとして、会員同士の自社紹介を行い、業務の効率化の支援を図り、かつ適正処理の推進、廃棄物の不法投棄防止へとつながるような事業を開催してみてもどうか、との思いから今回の開催となりました。

研修会は金井邦剛副支部長の司会進行の下始まり、開会の辞は丹羽庸介監事が述べ、開会の挨拶は石山支部長が述べました。

次に来賓としてお越しいただきました、岡崎市環境部廃棄物対策課長 木村敏弘氏、豊田市環境部担当長（監視・審査担当）春日部直樹氏、（一社）愛知県産業資源循環協会専務理事 堀部隆司氏の紹介がありました。

第1部の「自社PR」では、支部会員7社が自社の得意分野や強みについて明示したスライドを作成しプレゼンテーションを行いました。

（各社の詳細は次ページにホームページのQRコードを配置）

発表された全ての企業は、既に廃棄物という概念ではなく、いかに資源循環させていけばいいのか、日々最新の技術革新が現場で行われていることが発表者の言葉から伝わってきました。

資源循環型社会推進に向けた一番の担い手でもある産廃業者の方々の新たな取組は、行政担当者の方から好評を得、岡崎市の木村課長からは「排出事業者が廃棄物の成分に対して分からないこともある中、プロフェッショナルである産廃業者の方の横のつながりによる強みで、ここまで適正処理ができるという提案ができることを知りました。これは排出事業者にとってもメリットであり、この地域の大きな強みになるのではないかと感じました。今後もこういった交流を深めて欲しいと思います。」と述べました。

豊田市の春日部担当長は「（一社）愛知県産業資源循環協会様の活動は日頃から非常に頼もしく感じており、ありがとうございます。今回、豊田市の許



司会進行の
金井副支部長



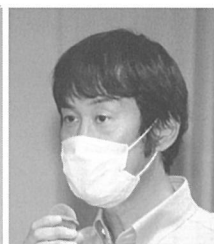
開会の辞を述べる
丹羽監事



開会の挨拶をする
石山支部長



講評を述べる
木村課長



講評を述べる
春日部担当長



懇親会で挨拶をする
堀部専務理事

可取得業者様はおられませんでした。発表内容につきましては興味深く拝聴しました。今後このような機会がありましたら勉強のために参加させていただきたいと思っております。」と述べました。

第2部の「調べて発表！西三河支部」は「いまさら廃掃法」をテーマに、金井副支部長が発表の予定でしたが、時間の関係上中止となりました。

「懇親会」は会場を「ローレライ」に移して開催され、開会の挨拶で堀部専務理事は「会員さんのメリットについて考えた時、本日のような支部での新事業は皆様方の強みや特徴について発表される機会を持って有意義であると感じました。今後協会としても皆様の為に事業をPRできるように頑張ってお参りますので宜しくお願い申し上げます。」と述べました。その後、新規会員3社の紹介があり、担当者が会社紹介や特徴について話し、既存会員の方との交流ができた有意義な会となりました。

後日談ですが、事業後すぐに参加者の方から支部役員に電話連絡があり、事業で発表された方に頼みたいことがあるので連絡先を教えて欲しいという話が複数ありました。その方々はそれぞれに話が進み成約に至ったとのことでした。

新たな取組が直に会員様の業務の広がりを提供できる場となったことは、支部の役割を果たせたのではないかと安堵されたとのことでした。



「自己PR」の様子



懇親会の様子

今後、これを機に広報の役割に着目した事業展開も視野に入れ、会員皆様の実務の支援につながるような体制を整えたいとのことでした。

「自社PR」をプレゼンされた支部会員

岡崎技研（株）

〒444-2134 岡崎市大樹寺1-12-3
TEL 0564-87-3922

代表取締役 天野晃明氏



岡崎市で液体の廃棄物を専門で処理しております



35%生塩酸や98%生硫酸、容器に入ったよくわからない液体から側溝の泥まで。pH？酸やアルカリ？よくわかんない！！

お客様から問い合わせの際、液体の廃棄物になじみがない為に断ってしまった経験がある同業者様へ。

どうぞ、営業の天野までお問い合わせください！

無限E & M（有）

〒444-3523 岡崎市藤川町字小坂40
TEL 0564-72-8386

代表取締役 神谷清孝氏




岡崎市の金属くず買取会社



岡崎市国道1号線、藤川町にて各種廃金属の買取や産廃の収集運搬を行っております。

会社のイメージキャラクターは恐竜で1号線を走るととても

よく目立つので、また探してみてください。

 岡崎市近郊の現場で鉄くずなどの金属くずが発生した場合や他社さんで断られた荷物も、是非とも無限E & Mへお問い合わせしてみてください。

大徳運輸（株）

〒444-3334 岡崎市生平町保毛22-1
TEL 0564-27-6111

統括部長 松田喜之氏

大型車両による長距離・広域輸送を得意としております

新しい研修事業の一環として自社PRを実施させて頂き誠に感謝しております。

今までは遠方からの収集運搬が多く、地元で活躍する皆様と



の交流が少なく弊社を知って頂く良い機会でした。今後皆様に愛されるよう、誇りと責任をモットーに邁進して参ります。是非とも収集運搬でお困りの方は『大徳運輸(株)』にお任せください!

(有) O.W.M

〒470-0375 豊田市亀首町山川 35-2
TEL 0564-27-6111
取締役 加藤秀夫氏



ピット清掃から液体廃棄物の運搬、処分提案まで



自社をPRする良いきっかけと思ひ、応募させて頂きました。

当社はバキューム車などでピット清掃をし、発生した液状及び泥状の廃棄物を各処分場まで運搬しております。また、作業工程などの管理を一括して取りまとめることもできます。

長坂建設興業 (株)

〒444-0521 西尾市吉良町上横須賀神ノ木 24
TEL 0563-35-0501
常務取締役 中嶋政秋氏



建設に係ること全てお任せください



当社は碎石事業に始まり、土木工事、解体工事、がれき類の処理など建設に係ることの多くに携わっております。

またグループ会社にて路面標示、白線引き、軽油配達、トラック用タイヤ交換の出張サービス、ガソリンスタンドの運営など様々なサービスを展開している会社であります。

(有) 渥美商会

〒446-0025 安城市古井町東川 25
TEL 0566-77-0553
代表取締役 渥美和男氏



固形廃棄物の処理はお任せください



8 m³コンテナ車やユニック車、パッカー車、水密大型車などの運搬車を所有し、破碎機、選別機、圧縮機にて混合廃棄物や廃プラスチック類を処理しております『有限会社 渥美商会』です。

未選別の混合廃棄物や未破碎の廃プラスチック類のことは当社にお任せください。

排出事業場から直接安定型・管理型最終処分場へ行く案件も得意としてます。運搬のみの相談も承っております。今春から10tコンテナ車導入。

サンエイ (株)

〒448-8524 愛知県刈谷市桜町 3-3
TEL 0566-21-4301

課長 安達健太郎氏 主担当員 大鹿晃弘氏

環境分野の総合会社
施設清掃・環境分析・焼却



支部内業者の業務内容を共有することができ大変有意義な時間でした。

廃棄物処理業に留まらず、各社が幅広い分野で展開されていることもわかり大変勉強になりました。

具体的な強みなども共有でき、排出事業者の困り事を解決する提案ができるよう交流を深めていきたいと感じました。第二弾・三弾と継続し、横のつながりを強化することで資源循環型社会のお手伝いをさせていただければと思っております。

新規会員のご紹介

(株) 大同建設工業
大村真也氏 村尾真人氏



(有) グローバルエージェント
専務取締役 小玉祐生氏
営業 大垣智裕氏



(株) センス
課長 平林卓氏

